

日本農業遺産

Japanese **N**ationally **I**mportant **A**gricultural **H**eritage **S**ystems



長岡市山古志地域 棚田・棚池冬景色

雪の恵みを活かした稲作・養鯉システム (新潟県中越地域)

水の少ない山間地において、横井戸や雪解け水を利用した稲作と養鯉が伝統的に行われ、突然変異の色鯉を育種した、錦鯉の発祥の地。



小千谷市小栗山地域 棚田・棚池景観

山間部の豪雪地帯に位置する当地では、棚田で稲作を行うとともに、冬期のタンパク源として農家がため池で食用の真鯉を飼う暮らしが行われてきました。山間地で水が少ないことから、血縁組織「マキ」による横井戸の掘削や、雪解け水の貯水により稲作や養鯉に用いる水を確保する技術が受け継がれてきました。

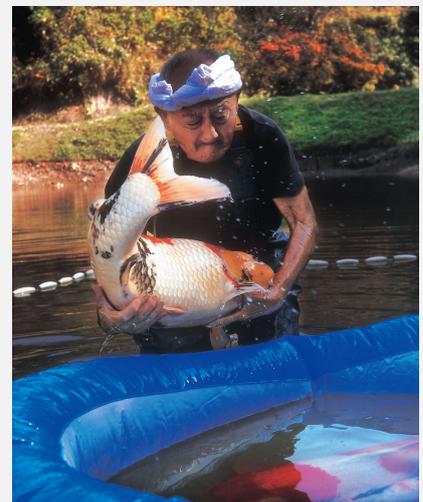
文化・文政期頃に、この真鯉から突然変異で生じた色鯉を育種したことで、当地域は世界における錦鯉の発祥の地となりました。質の高い錦鯉は地域の重要な収入源であり、当地の原種が世界各地で利用されるなど重要な知識システムとして継承されています。

養鯉業は地域に若い労働力を引きつけ、畦や棚田が保全され、ため池と棚田が入り組む特有のランドスケープの維持や、祭や料理などの地域文化の維持にも貢献しています。



牛の角突き

角を突き合わせ、激しくせめぎあう闘牛。



錦鯉発祥の地

良き成長を願い、期待を寄せる錦鯉の池上。